



医療人能力開発センター & 医学教育センター

Wind

News letter No.47

バッグナンバーは「GUNMAS」およびHPに掲載しています

医療人能力開発センターホームページ

<http://mec.dept.showa.gunma-u.ac.jp/>

こちらから入って各部門をクリックしてご覧ください。



2016.8.18 No.47

医療人能力開発センター

臨床研修センター/スキルラボ部門

男女協働キャリア支援部門

看護職キャリア支援部門

群馬県地域医療支援センター

内線 7736 E-mail: c-center@ml.gunma-u.ac.jp

医学教育センター

内線 8017

E-mail: cme.gunma.univ@gmail.com



レジナビフェア2016東京

2016年7月17日(日)

7月17日(日)に東京ビッグサイトにて「レジナビフェア2016東京」が開催され、「群馬レジデントサポート協議会」ブース内に群馬大学医学部附属病院を含む群馬県内の11病院が出展しました。群大ブースには研修医の代表として、佐々木先生、重田先生が説明者として参加してくれました。今年は新専門医制度の影響のためか、臨床研修に関することだけでなく、将来の専門研修将来や大学院のことなど、医師としてのキャリア全般に関する幅広い質問があったのが印象的でした。

医学生の方から群馬大学医学部附属病院に寄せられる、本院ならではの研修に対する期待に応えていけますように教職員の皆様のご協力・ご指導のほどを、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。後輩たちの熱心な質問に親身に回答してくれた2名の研修医の先生方、大変ありがとうございました！

(菊地 麻美)



右が佐々木 夢佳先生
左が重田 有香先生



第6回 研修医症例発表会 9月30日(金)に開催です

今年も9月30日(金)に、群馬大学医学部附属病院初期臨床研修医症例発表会を開催します。

本院研修プログラムで経験した様々な症例について発表していただきます。内容・形式は、オリジナルでも、学会や地方会で発表した内容でも結構です。優秀な発表者には表彰と、豪華(?)副賞も用意させていただいております(参加賞もあります)。

日時 2016年9月30日(金) 15時00分～

場所 医学部大会議室 (臨床研究棟1階)

※19時15分から石井ホール(プロジェクト棟1階)にて
研修医・歯科研修医と教職員・指導医との意見交換会
があります。

ぜひ、ふるってご参加ください。



今年も昭和地区で医学科のオープンキャンパスが開催されました。その一環として、「施設見学」ということで、総勢209名もの高校生がスキルラボセンターに見学に来てくれました。昨年に引き続き、多くの診療科の先生や看護部のご協力のもと、様々なシミュレータを使って診察や手技の体験をしてもらいました。

参加してくれた高校生たちは、みんないきいきと楽しそうにしていました。受験勉強のモチベーションアップにつながれば嬉しいです。年々新しいシミュレータも導入しながらバージョンアップしていきたいと思っています。協力してくださった方々にはこの場をお借りして御礼申し上げます。(田中 和美)



消化器内視鏡の
操作体験中！

みんなで腹腔鏡
の手術体験！



いろいろ、みて、さわってみよう！



アンケート結果より(学生さんの声)

- ・とても楽しいオープンキャンパスでした。スキルラボセンターでの体験の時間がもう少し欲しいと思いました。ありがとうございました。
- ・スキルラボでの腹腔鏡体験や内視鏡は難しかったが貴重な体験であった。病院を通るとき患者さんやドクターを見て群馬大学で学び群馬の地域医療を支えていきたいという気持ちが強くなった。
- ・とても有意義な時間でした。スキルラボセンターでの体験は医師になるにしろ、違う進路に進むとしても、とても貴重な体験で、医師や看護師の苦勞、人の命の重みを感じました。
- ・もっとスキルラボセンターをまわってみたかった。おもしろかったです。手先は器用だと思っていたのですが、腹腔鏡の手術は実際(体験ですが)とても難しかったです。
- ・スキルラボセンターでは、丁寧に操作などを教えてもらったので、こういう体験は初めてでしたが、とても楽しかったです。

今年度も統計セミナーを開催します

医学教育センターでは、今年度も統計セミナーを開催します。開催時間やお申込み方法などの詳細は、各セミナー開催日の2ヶ月前を目安に、院内掲示や医学教育センターホームページ等でお知らせします。
(都合により、開催日などが変更となる場合もあります。あらかじめ、ご了承ください。)

月	日	テーマ	備考	会場
9	3	初等統計学再入門 (医学科2年次の講義と同水準)	3日:記述統計～t検定	臨床中講堂
	17		17日: χ^2 検定, 相関, 回帰	
10	22	多重比較	SPSSやEZRでの解析も例示	臨床中講堂
11	12	SPSS実習セミナー:初級編	初等統計学の知識が前提	情報処理演習室A (共用施設棟3階)
12	10	重回帰分析・logistic回帰分析	講義	臨床中講堂
1	7	SPSS実習セミナー :重回帰分析・logistic回帰分析	重回帰・logistic回帰の知識が前提	情報処理演習室A (共用施設棟3階)
2	18	傾向スコア	logistic回帰の知識が前提	臨床中講堂
3	4	初等統計学再入門	〔9月3・17日と同内容〕	臨床中講堂
	18			
	25	SPSS実習セミナー:初級編	〔11月12日と同内容〕	情報処理演習室A (共用施設棟3階)

現在、以下の2つのセミナーで参加を受け付けています。準備の都合のため、事前申し込み制とさせていただきます。お申し込みはメールにてお願いします。

1. 初等統計学再入門『医療統計学'再入門'セミナー』

医療統計学の初学者向けセミナーです。「SPSS実習セミナー：初級編」に参加希望の方で、初等統計学の知識に自信のない方は、このセミナーを受講してください。

- 開催日時：2016年9月3日(土)・17日(土) 14:00～17:00
- 講師：群馬大学非常勤講師 藤田 晴康 先生
- 開催場所：臨床中講堂
- 申込締切：2016年8月26日(金)

2. 『多重比較法』

多重比較法の原理と手法について解説します。SPSS や R(EZR) での実行例も併せて紹介します。

- 開催日時：2016年10月22日(土) 14:00～17:00
- 講師：群馬大学非常勤講師 藤田 晴康 先生
- 開催場所：臨床中講堂
- 申込締切：2016年10月14日(金)

統計セミナーに関するお問い合わせ・お申込み
医学教育センター(担当:井手野) cme.gunma.univ@gmail.com
医学教育センターホームページ <http://cme.med.gunma-u.ac.jp/>

6月27日(月)、地域医療枠の新入生18名が群馬県庁を訪問しました。群馬大学医学部附属病院からは、小山教務部会長、鎌田医学教育センター副センター長、國松医学科教務係長とともに、地域医療支援センター専任医師として土岐、羽鳥が同行しました。

県庁では川原健康福祉部副部長より、地域医療枠学生に対する群馬県民の期待が大きいこと、また、将来の群馬県の医療を担っていくためにも充実した学生生活を過ごすように、との激励のお言葉を

いただきました。その後、学生一人ひとりが自己紹介と地域医療に対する抱負を述べ、和やかな雰囲気の中で懇談が行われました。新入生には、地域医療枠学生として県民に期待されているという自覚を持ち、実りの多い学生生活を過ごしてもらいたいと思います。

(羽鳥 麗子)



群馬大学医学部地域医療枠学生交流会

2016年7月4日(月)

7月4日(月)、病院内レストランCinemaにて、地域医療枠学生交流会を開催しました。荒川医療人能力開発センター長、群馬県医務課医師確保対策室江原室長をはじめ、群馬県職員、群馬大学医学教育センター職員、地域医療枠学生(1-6年生)の総勢44名が参加しました。荒川センター長のご挨拶に続き、医師確保対策室山崎補佐から群馬県の地域医療の現状と課題、地域医療枠学生への期待などについてお話をいただきました。

現在、地域医療枠学生の最上級生は、初期臨床研修医2年目として県内の臨床研修病院にて勤務しています。5、6年生からは、群馬県職員や群馬県地域医療支援センタースタッフに対して、将来の初期研修や研修病院、初期研修中の先輩の様子などについて熱心に質問や疑問が投げかけられていました。そんな上級生を見て下級生も刺激を受け、臨床実習をはじめとする学生生活の様子、将来のキャリア形成に関する不安や悩みなど、学年を越えて幅広く意見交換が行われました。また、多くの学生が、この夏に開催する各種地域医療体験セミナーへの参加申し込みをしてくれました。このような機会を、将来の医師像を考えるために活かしてもらえればと思います。

(羽鳥 麗子)



編集後記 (2016. 8. 18)

無理やり夏休みをとってみましたが、なんだか落ち着かず、仕方なく家庭サービスにいそしむ企業戦士はこんなものかなと思いながら過ごしました。遠方からやってくる夫、ふたつめの大学に入学した娘と受験生の息子という構成なので、出かけた先で仕事をしていても気にされることもありません。育児等々で大変な皆さんも、いつか終わりますので、自分のキャリアは考えておきましょう。

昨年の今頃、終戦記念日の特番を見ては、何事も歴史がある、と感慨深かったものでした。しかし、目の前の仕事に追われ、途中まで読んだ太平洋戦争のシリーズ本が積まれたままになっています。今年度は少し頭の中の整理をと思いつつ、慌ただしい日々は変わりありません。

今回も皆様のおかげで充実した紙面となりました。医療人能力開発センター、医学教育センターでは、教育、研修、スキルアップ等々に役立つ、様々な機会を提供していますので、ぜひ積極的にご参加ください。(YN)